



2017~2018

津南ロータリークラブ週報

第2630地区 ROTARY CLUB OF TSU-SOUTH



例会日/毎火曜日
例会場/津都ホテル 津市大門7-15
事務所/津市大門10-7
ピッチャーズビル2階
TEL 225-2373 FAX 213-6175

会長/山田 俊郎
幹事/西井 健之
E-mail: src.tsu@dream.ocn.ne.jp
ホームページ: http://tsu-minami-rc.com/

第2489回例会 2017年8月29日(火) 天候 晴

—— 9月は基本的教育と識字率向上月間 ——



例会予定

- 9月5日(火) IM報告
- 9月12日(火) 外来卓話
表具師 裏千家 中島 文雄様
- 9月19日(火) 観月夜間例会 18:30~
於: アールベルアンジェ Mie
- 9月25日(月) 田山ガバナー公式訪問
津・四クラブ合同例会
9月26日(火) → 9月25日(月) 変更

進行担当

(吹戸副SAA)

国歌斉唱 ロータリーソング 奉仕の理想

来訪者

(山田会長)

ゲストスピーカー 飯田 真琴様
(三重県警察本部サイバー犯罪対策課警部)
津 R C 大津 光浩君

出席報告

(内田委員)

8月29日 出席率 48名中 40名 83.33%
8月8日 修正出席率 48名中 45名 93.75%

ニコBOX

(川本副委員長)

- 大津 光浩君 (津RC) 津RCからメイクアップで参りました。お世話になります。
- 山田 俊郎君 飯田様、本日の卓話よろしくお願ひします。
- 西井 健之君 飯田様、本日の卓話楽しみにしております。
- 栗田 明君 県警本部 飯田警部、お忙しい中ありがとうございます。よろしくお願ひします。
- 鈴木 康義君 飯田警部、本日はお忙しいところ卓話ありがとうございます。よろしくお願ひします。

会長報告

(山田会長)

◆「波及効果の法則」

管理職は、目的に向かって組織をまとめ、部署や組織に対して成果や答えを引き出すことが必要です。この目的遂行には、スタッフの士気が重要であり、その士気は、組織風土によって大きな影響を与えているという「波及効果の法則」があります。

- 管理職に笑顔がほとんど見られない組織は現場スタッフも患者様に対して笑顔が無い。
- 管理職が部下の話に耳を傾けない組織は、現場スタッフも患者様に耳を傾け無い。
- 管理職同士の仲の悪い組織は、部署間の協力が得られない組織。

上層部に笑顔や活気が少ないと、メンバー間にもその思いは伝わって行くものです。

組織としてまとまった信頼感を固める為には、部下の変化を待つのではなく、まずは管理職からいい流れを作っていかななくてはならないのです。

幹事報告

(西井幹事)

- ★ 田島和雄氏の入会の件
- ★ 9月ロータリーレート 1ドル¥109
- ★ IMの件
- ★ 地区大会の件
- ★ 例会変更 1件

竹内 敏明君 飯田真琴様、今日は有益なお話ありがとうございます。

三重県警察本部サイバー犯罪対策課 警部
飯田真琴様をお迎えして、

- 千代延郁男君、中山 敏君、吉村 哲夫君
- 千原 一典君、伊藤 仁君、伊藤 孝行君
- 内田 祐仁君、阿部 祐司君、日南田隆司君
- 高林 学君、佐々木 喬君、伊藤 歳恭君
- 今野信太郎君、土田 研輔君、山本 哲也君
- 澤田 勝志君、林 裕行君

外来卓話

組織におけるサイバーセキュリティ ～サイバー空間の脅威と対策～



三重県警察本部
サイバー犯罪対策課
警部 飯田 真琴 様

1 はじめに

- サイバー犯罪対策課は、平成26年4月に発足し、サイバー犯罪の取締などを所掌している。
- 三重県警に最初にサイバー犯罪を専門に扱う係が置かれたのは、平成11年に設置された「ハイテク犯罪捜査係」であり、それから既に18年を経過している。
- 意外に歴史の長いサイバー犯罪であるが、インターネットや情報通信機器の普及などを背景に、大きく変化していることは間違いない。
- インターネットの黎明期には、個人的に、愉快的に犯行に及ぶ例が多かったが、最近ではカネや情報を目当てとした組織的な犯罪が脅威となってきている。それに伴って攻撃も高度化、多様化しており、防御側の対策強化が急務となっている。

2 サイバー空間の脅威と情勢

(1) 攻撃側の実態

- サイバー空間の「脅威」のイメージは、どこか散発的に起きているイメージが強いかもしれないが、実態としては「常に」脅威が押し寄せてきている状況にある。
- 警察庁による観測結果によれば、インターネットに接続された機器には、「スキャン」と呼ばれる、侵入を探るための通信が毎日千数百件届いている。これは、現実に例えば家の施錠やドアの開閉を監視されているような状況であり、どこかで隙を見れば、直ちに侵入されてしまうような緊張状態にあると言える。
- 攻撃側は自身の姿を隠すため、海外に設置された中継サーバを使うなどの対策を講じている。

(2) ウイルスの実態

- ウイルスの感染経路は、かつてはフロッピーなどの外部記録媒体や、インターネット上に置かれたソフトなどを經由することが多かったが、今はメールと、ホームページの閲覧が大部分であると言われている。
- 攻撃側の手口によっては、正規のウェブサイトを開覧しているだけで感染することもある。
- ウイルス対策ソフトも重要かつ有効であるが、万能ではない。検知できないウイルスが存在することは、ウイルス対策ソフトのメーカーの幹部も認めている。

(3) 標的型攻撃と情報流出

- 標的型攻撃は、特定の対象を狙って執拗に続けら

れる。

- どんなに強固なセキュリティを施していても、外部との通信は必ず発生するため、攻撃側もこの点を狙ってくる。また、セキュリティの弱い取引先などを先に攻撃しておいて、そこを足がかりに攻撃する例もある。
- 情報流出は、ひとたび発生すると多大な損害を産み、経営にも（規模によっては社会的にも）大きな影響がある。
- (4) 県内の被害事例
 - 県内でも、自治体を含めていくつもの被害が発生しており、決して他人事ではない。
- (5) 頻発している被害
 - インターネットバンキング不正送金は、対策が進んではいるが、依然として発生が絶えない。フィッシングと呼ばれる偽サイトを通じてIDなどを盗まれるパターンと、ウイルスが勝手に送金してしまうパターンがある。前者は、利用者の知識や警戒心が必要で、後者は端末のウイルス対策が重要である。
 - ランサムウェアは、今年5月に世界的に感染被害が発生したが、それ以外にも多数発生している。ウイルスは、耐性菌と同じで常に防御の上を行こうと進化し続けている。波が過ぎたように見えても油断してはならない。
 - 職場に設置した監視カメラが外部から丸見えになっている例もあるので注意を。

3 被害を防ぐための対策

- セキュリティ対策は、経営問題である。
- 中小事業者のセキュリティは、対策が十分になさるににくいという問題意識があり、経産省なども力を入れてきている。
- 経産省所管の独立行政法人情報処理推進機構（IPA）のホームページには、企業におけるセキュリティ対策に有用な情報が大量に掲載されている。「中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン」は是非一読願いたい。
- 対策を施すには、保有している情報と機器について把握し、対策の方針を定めるところから始める必要がある。また、万能の対策は存在しないので、様々な対策を重ねていく考え方を持つ必要がある。
- 対策は、機器類に対する技術的な対策のイメージが強いかもしれないが、従業員などを対象とした教養、訓練なども重要である。

4 被害発生時の対応

- 被害が発生した際は、時間とともに事態が悪化するるので、迅速な対応が重要になる。
- 具体的には、事実確認・状況確認、システムの安全確保、証拠保全の3つの観点を持って対応願いたい。
- 対応に際しては、外部の助力も必要になる。IPAでも相談窓口を開設しており、警察でも相談や事件化の対応を取るので、積極的に通報、相談してほしい。

例会変更のご案内

- 鈴鹿シティRC 9月13日（水）→9日（土）鈴鹿げんき花火大会会場内（白子港緑地公園）にて
鈴鹿げんき花火大会参加例会のため
- 9月27日（水）→23日（土）近鉄白子駅西口広場にて 防犯啓発活動セレモニーのため
※ビジター受付は、鈴鹿サーキットホテル1Fロビーにて18:30～19:00まで致します。
- 伊勢中央RC 9月1日（金）→2日（土）18:30～ 神宮会館にて 第6回 RC中日本選抜野球大会懇親会のため
- 松 阪RC 9月27日（水）8:30～ 宝塚古墳公園にて 早朝清掃例会のため
- 鈴鹿ベイRC 9月7日（木）ミルクにて 夏季親睦例会のため
- 9月14日（木）グリーンパーク鈴鹿にて 会場都合のため
※ビジター受付は、7日（木）14日（木）18:00～18:30まで鈴鹿サーキットホテル1Fロビーにて行います。
- 9月21日（木）特別休会 ※ビジター受付はご容赦下さい。